

第 25 回がん臨床研究フォーラムプログラム

平成 27 年 6 月 12 日 (金) 於：国立がん研究センター内国際研究交流会館

<開会の辞> (9:00~9:10)

- ・ 全国がん (成人病) センター協議会会長
(国立がん研究センター 理事長) 堀田 知光
- ・ 第 25 回がん臨床研究フォーラム実行委員長
(山形県立中央病院 院長) 後藤 敏和

<午前の部>シンポジウム (9:10~12:00)

主題：がん患者の早期社会復帰に対する支援

座長：日本対がん協会 会長 垣添 忠生
国立がん研究センター がん対策情報センター
がんサバイバーシップ支援研究部長 高橋 都

【9:10~9:25】(問題提起 15 分)

日本対がん協会 会長 垣添 忠生

【9:25~9:55】(講演 25 分、質疑 5 分)

1 上部消化管がん術後の栄養サポート
がん研究会有明病院 消化器センター 食道医長 峯 真司

【9:55~10:25】(講演 25 分、質疑 5 分)

2 がんリハビリテーション 社会復帰への挑戦
慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室准教授 辻 哲也

【10:25~10:55】(講演 25 分、質疑 5 分)

3 がん患者の就労支援と課題
静岡県立静岡がんセンター 疾病管理センターよろず相談専門監 高田 由香

【10:55~11:25】(講演 25 分、質疑 5 分)

4 がん診断初期から始まる社会的サポート
国立がん研究センター東病院 サポートイブケアセンター
がん相談統括専門職 坂本 はと恵

【11:25~12:00】

総合討論

<昼食休憩> (12:00~13:00)

<午後の部>ワークショップ (13:00~15:30)

主題：上部胃がんに対する治療戦略

座長：東京大学大学院医学系研究科
山形県立中央病院

消化管外科学 教授
副院長

瀬戸 泰之
福島 紀雅

【13:00~13:05】(問題提起 5分)

山形県立中央病院

副院長

福島 紀雅

【13:05~13:35】(講演 25分、質疑 5分)

1 噴門側胃切除術の臨床的有用性と課題 –PGSASの知見を交えて–

東京慈恵医科大学附属病院

消化管外科 診療医長

中田 浩二

【13:35~14:05】(講演 25分、質疑 5分)

2 噴門側胃切除後各再建術式のQOL評価

山形県立中央病院

外科医長

野村 尚

【14:05~14:35】(講演 25分、質疑 5分)

3 食道胃接合部癌–最近の知見–

東京大学大学院医学系研究科

消化管外科学 教授

瀬戸 泰之

【14:35~15:05】(講演 25分、質疑 5分)

4 上部胃癌に対するD2郭清：新たなスタンダード

神奈川県立がんセンター

消化器外科 部長

吉川 貴己

【15:05~15:30】

総合討論

<閉会の辞>

山形県立中央病院

副院長

福島 紀雅